

2017-B

Ⅲ40B

拠出金・基金
の名称

低炭素型水環境改善システム研究事業

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際連合大学

【所管官庁担当局課・室名】環境省 水・大気環境局 総務課 水・大気環境国際協力推進室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

本研究は、アジアの途上国が人口増加・都市化・低炭素化等を総合的に考慮し、自国内の排水管理・水質保全政策を進めるために情報整備・政策評価手法の提供を行い、途上国における政策立案・実施能力の向上を図ることを目的とする。本拠出では、これらの研究活動、及びその内容を共有するためのワークショップなどの活動費用等を支援する。

途上国の水環境改善は、国際社会の開発目標に含まれる重要な課題であることから、持続可能な都市開発の分野に知見があり、その研究基盤と国際的なネットワークを有する国連大学と連携し、①基礎データ収集・解析、②各都市・地域関係者との連携による政策のベストミックスの検討、及び③低炭素型水環境改善戦略と政策評価手法の取りまとめを行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	90,000			円建て	0
平成28年度	90,000			円建て	0
平成27年度	90,000			円建て	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

本事業では水環境管理に課題を抱えるアジア地域の8都市を対象に基礎データを収集し、現地のニーズも踏まえつつ水環境予測モデルおよび排水管理・水質保全政策の経済性評価手法等を構築し、それを基に途上国の政策立案者等への政策提案を行った。

構築した予測モデルを用いることで各都市が抱える地理的な特徴や課題を反映させることができ、現地の状況やニーズに即した政策提案が可能となったと評価される。また、国連大学が有する研究基盤とネットワークを活用することで、アジア地域の都市における現地政策立案者や研究者等の水環境管理にかかる能力向上に貢献した。

【備考】